

報道関係者各位

2022 年 12 月 9 日

群馬いろは（高崎ターミナルビル）×TUC 高崎商科大学



「発掘！県民 Sweets」

～学生がセレクトした群馬が誇る Sweets～



■イベント概要

「発掘！県民 Sweets」は、おみやげに焦点を当て、コロナ禍で影響を受けている群馬県のおみやげ店や観光地をプロモーションするプロジェクトです。3つの学生チーム参加し、各チームが“知る人ぞ知る県内の銘菓”を発掘。商品と観光 PR チラシを作成し、連携協定を結んだ高崎ターミナルビル株式会社が運営する JR 高崎駅構内の「群馬いろは」にて、12月17日（土）・18日（日）に販売を行います。販売イベントをととして、商品と観光地のプロモーションを行い、コロナ禍で影響を受けている県内観光産業の振興を担います。またマーケティングの実践として、2日間合計の商品売上個数とチラシの配布枚数を競い、優勝チームを決定いたします。

日時：12月17日（土）・18日（日）

場所：JR 高崎駅構内「群馬いろは」

住所：群馬県高崎市八島町 222 番地

共催：高崎ターミナルビル株式会社

指導：滝井元視准教授（キャリア教育）

【学生が作成したイベント用商品チラシ】

みなかみ「小荒井製菓 生どら焼き」 富岡「扇屋 富岡シルクぼてと」

高崎「トレフル観味堂 肉球フリアン」

本件は高崎商科大学(所在地：群馬県高崎市、学長：淵上勇次郎)と、駅ビルや駅ナカ事業、高架下管理業務など、幅広く展開する高崎ターミナルビル株式会社が連携し、群馬県内の知られざるスイーツを発掘し、商品プロモーションをとおしてマーケティングを実践的に学ぶことのできる PBL 型（課題解決型学習）プロジェクトです。企業連携教育「3.5 本の矢プロジェクト」の一環で、大学で学んだ理論や知識を実践することで、より実社会に即した教育を学ぶことのできるプログラムとなっています。本プロジェクトはチームでのワークを中心としており、マーケティング調査、店舗との交渉、デザイン等の責任者をそれぞれ立てることで、学生が自走できる仕組みを構築しています。学生自身が課題を感じ、それらを自ら解決していくプロセスで自主性・主体性を養成することができます。大学・短大から有志により 3 チームが参加。11 回の全体ワークと 4～7 回のチーム別ワークで構成され、プロジェクトリーダー滝井元視准教授（キャリア教育専門）の全体指導のもと、マーケティング専攻の増淵賢一郎特任教授、アートディレクターの遠藤幸さんによる特別講義も行いました。また、学生自身もご協力いただいた地元の店舗様との対話を重ねながら、商品のブランディング、交渉、販売商品の発注など、ビジネスシーンで求められる幅広いスキルを実践の場で高めてまいりました。最前線で活躍する職業人による「活きた」講義から、ビジネスと社会についての学びを深化させることができるのも本プログラムの魅力です。

■3.5 本の矢プロジェクト

「3.5 本の矢プロジェクト」とは、本学が革新的な社会活動を行う企業と連携し、次世代を担う学生たちを育成する取り組みです。アドビシステムズ株式会社、楽天株式会社、株式会社電通の企業 3 社を 3 本の矢と見立て、成長の可能性を秘めた 0.5 本の矢である学生を 4 本目の矢として世に放つというコンセプトのもと「3.5 本の矢」と命名しました。2016 年より開始、現在では提携企業が増加し、3 社を超えた複数企業と、さまざまなコラボレーション講義を実施しています。



3.5 本の矢プロジェクト URL : <https://www.tuc.ac.jp/activities/company/>

■大学概要

名 称：高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部

所在地：〒370-1214 高崎市根小屋町 741

学長：淵上勇次郎／学園創立：1906 年／学生数：1002 人

学部：高崎商科大学（商学部）・高崎商科大学大学院（商学研究科）

高崎商科大学短期大学部（現代ビジネス学科）

HP : <https://www.tuc.ac.jp/>

■報道関係者からの問い合わせ先

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部

教学課教育企画 G（担当：迫田・北村）

TEL：027-347-3399（代表）

FAX：027-347-3389

E-Mail：k-kikaku@uv.tuc.ac.jp（教育企画 G）

高崎ターミナルビルとの打合せ



プロジェクトリーダー滝井元視准教授によるヒアリング講座



増淵賢一郎特任教授によるマーケティング講座



商品リサーチ



チラシ用商品撮影



チラシ作成 デザイナー遠藤幸さんの指導



昨年の販売イベントの様子

